

## 検討テーマの絞り込みに関する資料

1. 第1・2期推進委員会(H22～H25)における検討テーマと検証概要等
2. 第3・4期推進委員会(H26～H29)における検討テーマと検証概要等
3. 第4期推進委員会委員による検討テーマ案
4. 前回(第1回推進委員会)における検討テーマに関する意見等

## 1. 第1期(H22・23)検討テーマと第2期(H24・25)での検証内容等

	項目	方向性	具体的な事業	達成状況・成果	今後の対応・課題
1	協働を支援する機能	中間支援組織の設立に向けた支援が必要である。	市民活動応援事業	市民活動応援事業をスタートすることができた。	直接、中間支援組織の設立支援には至っていない。 今後の制度の更なる周知や、応援券の流通策の検討など、長期的な視点で検証が必要である。
		自立した新たな地域組織の創設に向けたしくみづくりが必要である。	地域コミュニティのしくみづくり支援事業	モデル地区の取組に続いて、新たなまちづくり協議会が設立されている。 市の推進体制としても「市縁隊」が設置され、地域コミュニティの新たなしくみづくりの初期段階としては順調な経過である。	市民全体のまちづくり協議会の必要性への理解については、地域間で温度差があり、地域予算制度の検討も引き続きなされている状況から、引き続き、事業の推進状況を検証する必要がある。
2	コンプライアンス	職員のコンプライアンス関連規程の理解と適切な運用のため、職員の意識啓発を強化する必要がある。	職員コンプライアンス意識啓発事業	コンプライアンスハンドブックが完成し、行政側の対応方法が確立された。	今後は、運用の中で、適切かつ実務的な対応を行っていく。
3	監査	市民にとって分かりやすい成果に繋がる行政評価の導入が必要である。	施策評価の導入 事務事業評価対象の拡大	方向性に沿って、新たな施策評価の導入や標準事業まで事務事業評価対象を拡大により、行政評価システムの充実を図ることが出来た。	今後は、後期基本計画の施策の推進に向けて、新たなシステムを用いて、的確な評価を実施していく。
4	子ども	子ども条例の制定は現時点では時期尚早であり、まず、現在予定されている「(仮称)人権条例」の検討において、子どもの権利について検討を行う必要がある。	(仮称)人権を尊重する条例策定事業	「一人ひとりの人権が尊重される亀山市をつくる条例」が平成25年6月に施行され、市の人権に関する理念が取りまとめられた。	今後、この条例に基づき、具体的な基本方針などの検討が進められる。

## 2. 第3期(H26・27)検討テーマと第4期(H28・29)での検証内容等

	項目	方向性	具体的な事業	達成状況・成果	今後の対応・課題
1	地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域まちづくり協議会の必要性の明確化</li> <li>○地域を担うリーダーの育成</li> <li>○自主的な地域づくり予算制度の構築</li> <li>○災害時の地域まちづくり協議会などの役割の検討</li> </ul>	地域コミュニティのしくみづくり支援事業	H28年度に市内に全22地区で地域まちづくり協議会が設立され、H30年度には全協議会で地域まちづくりちづくり計画が策定された。 地域予算制度や担い手研修の支援により、徐々に地域コミュニティのしくみが構築されてきた。	各地域で策定されたまちづくり計画の具現化に向けて、引き続き、地域コミュニティのしくみづくり支援が必要である。 また、地域まちづくり協議会と行政との協働のしくみづくりも必要である。
2	協働を支援する機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>○現行の市民活動応援制度の検証</li> </ul>	市民活動応援事業	市民活動応援券の使用率は年々上昇しており、市民認知度も向上し、制度が浸透してきている。	使用率の低い地域もあることから、制度検証を行いながら、有効な配布・活用方法について検討する必要がある。
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○協働のしくみの見直しの必要性検討</li> <li>○協働事業提案制度の検証</li> </ul>	市民参画協働事業	協働のしくみの見直しについて検討を行い、H29年度から新たな制度運用を開始した。	地域まちづくり協議会との協働のあり方や協働事業に取り組んだ成果・結果などの周知機会の拡大が必要である。 また、行政側からの協働提案をかたちにするしくみも必要。
3	基本条例との整合	<ul style="list-style-type: none"> <li>○整合性を確認する現行事務の検証</li> <li>○整合性を確認する対象の検証及び結果の点検</li> </ul>	まちづくり基本条例との整合の検証	条例との整合性を確認するためnチェックリストをHPで公開することにより、職員の意識向上や市民の客観的な確認機会につながった。	市民の条例に対する認知度は依然低いと思われるため、PRイベントの開催等について検討が必要。

第4期推進委員会における次期推進計画の検討テーマ案（H30年3月）

キーワード	主な内容
自治会とまちづくり協議会の役割分担	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会とまちづくり協議会との役割整理 防災分野</li> <li>・自治会・まちづくり協議会と市との関係 地域課題解決に向けた総合窓口機能</li> </ul>
地域リーダーの育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若い世代、子育て世代の参画 子育てサロン、PTA等との連携</li> <li>・参画者の発掘に向けたPR 定年を迎えた世代、若い世代</li> </ul>
地域防災	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の対応等 避難行動要支援者等の対応、医療までの体制、企業の協力</li> </ul>
市民活動応援券の福祉分野への普及	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民活動応援券の個人的な利用 高齢者等に対する日常生活の支援としての利用普及、社会福祉協議会との連携</li> </ul>
地域包括ケアシステム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括ケアシステムの地域での取り組み</li> </ul>
中間支援組織の設立支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政と地域等の間にとって様々な活動の支援を行う団体の必要性</li> </ul>
外国人との共生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多文化への理解</li> <li>・外国人に対する日常生活のサポート（日本文化の周知・理解）</li> </ul>
空き家対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・増加する空き家への対応、空き家の活用、家財道具のリユース</li> </ul>
高齢者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家問題、介護</li> </ul>
ひきこもり対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成人のひきこもり対策</li> </ul>
婚活対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・婚活支援、（本市への定住（移住））</li> </ul>
企業と地域の関わり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業の地域活動への参画、協力</li> </ul>

## 第1回推進会議における検討テーマに関する意見等

キーワード	主な意見の内容等	市の状況等
外国人との共生	<ul style="list-style-type: none"> <li>○多文化への理解・外国人に対する日常生活サポート</li> <li>○企業（雇用者）を巻き込んだ仕組みづくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雇用情勢の変化による外国人の労働や居住相談の増加</li> </ul>
地域コミュニティの仕組みづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域まちづくり協議会の在り方について (地域の方針が地区まちづくり計画となり、それに基づいた活動がなされているか。)</li> <li>○地域の担い手（リーダー）不足 (まちづくり協議会・自治会・民生委員では慢性的な担い手不足が顕著)</li> <li>○組織力維持の体制づくり (役員交代任期の工夫・研修会など)</li> <li>○有償ボランティアの仕組みづくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくり計画策定（H30）</li> <li>・地域コミュニティの仕組みづくり事業 (地域予算制度・担い手研修・地域担当職員など)</li> <li>・市民活動応援券制度</li> <li>・市民参画応援事業</li> </ul>
地域包括ケアシステム	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域包括ケアシステムの地域での取り組み ・行政も地域も内容や体制について十分な理解が得られてないのではないか。</li> <li>○健康寿命増進に向けた世代を越えた活動について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域において福祉課題等を解決する仕組みづくり支援（CSW配置など）</li> <li>・健康マイレージ事業など健康都市を目指した取り組み</li> </ul>
子どもの健全育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域まちづくり協議会としての学校への支援体制 (学習支援や地域総合型スポーツクラブでの地域との連携のしくみなど)</li> <li>(有償ボランティアの仕組みづくり)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティスクールの立ち上げ</li> </ul>
子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保育園や放課後児童クラブの役割</li> <li>○女性の就労支援について</li> </ul>	
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>○広報（効果的な情報発信）について</li> </ul>	